

上田市教育委員会 10月定例会会議録

1 日 時

平成27年10月21日（水） 午後3時から午後4時まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

| | |
|----------|-------|
| 教 育 長 | 小林 一雄 |
| 教育長職務代理者 | 城下 敦子 |
| 委 員 | 山崎 順子 |
| 委 員 | 寺島 滋 |
| 委 員 | 北沢 秀雄 |

○ 説 明 員

浪方教育参事、倉島教育総務課長、小井戸学校教育課長、瀬間生涯学習課長、宮崎人権同和教育政策幹、浅野文化振興課長、滝沢スポーツ推進課長、石井丸子地域教育事務所長、柳沢真田地域教育事務所長、清住武石地域教育事務所長、飯島第二学校給食センター所長、神林中央公民館長、大滝川西公民館長、石井上田情報ライブラリー館長

○ 傍 聴 者

2 名

1 あいさつ

2 〈協議事項〉

小林教育長

それでは、議事に入ります。

本日の協議事項のうち、協議題の1「学校給食の運営について」は、成案となる前の内容について協議検討をするものであり、この議題は非公開で審議することが適当と思われます。非公開とすることに御異議ありませんか。

全委員

異議なし

小林教育長

御異議がないので、本件については非公開で審議を行うことと決定します。なお、審議については、本日の最後に行うこととします。

(1) 学校給食の運営について（教育総務課）

(2) 重点目標の中間報告について（教育総務課）

○ 資料1により倉島教育総務課長説明（要旨）

教育委員会事務局の重点目標5項目について中間報告を説明させていただきたい。なお、様式については教育委員会だけではなくすべての部局、統一のものである。

1. 上田市教育支援プランの推進

○ 資料1により小井戸学校教育課長説明（要旨）

中間報告は目標どおりの進捗である。具体的な重点取組項目は、幼保小中の連携によるスムーズな接続で小学校における保育士との連携は、保育園の先生と学校の先生が行き来し、お互いの授業をみたり、子どもの様子を見たりしている。また、中学校の先生が小学校に行き、数学の授業を行うということは、今回、5校で実施をしている。次に、不登校や特別な支援が必要な児童・生徒への支援については、心の教室相談員と特別支援教育支援員、ボランティアの人員の配置を行った。ICTを活用した効果的な授業の推進は試験導入ということもあり、小学校2校、中学校2校の特別支援教室にタブレット型の端末を配置し、2学期から授業を開始している。地域に信頼され、地域に開かれた学校づくり（信州型コミュニティ・スクールの推進）では主に情報発信ということで、各学校において学校のホームページのなかで学校情報を発信している。信州型コミュニティ・スクールについては今年度、実施見込みは2校である。今後、順次進めていきたい。放課後児童対策の充実では、支援員の複数配置ということで多く予算計上したところである。また、トットの家では、分室の人数も増えてきたこともあり来年度建て替えの予定である。

2. 学校施設の耐震化推進と教育環境の整備

○ 資料1により倉島教育総務課長説明（要旨）

中間報告は目標どおりの進捗である。小中学校施設の耐震化事業の計画的な推進では、例年のない事業量を進めている。小中学校施設・設備の計画的な改修と日常的な営繕の充実で

は、日常的な営繕で予算を使い切っている状況があり、あわせて新しい予算を確保する努力をしている。小学校シャワー施設設置工事は未設置10校中5校あり、現在進めている。防火扉改修実施設計、トイレ改修実施設計は平成28年3月に完了予定である。工事のほうは順調に進んでいる状況である。

3. 地域に根づいた文化創造支援と文化遺産の継承と活用

○ 資料1により浅野文化振興課長説明（要旨）

中間報告は目標どおりの進捗である。史跡等整備推進と文化財の保護と活用については、案内看板等説明板の設置、AR映像作成などの事業で進捗率は50%であり12月には完了する予定である。郷土の文化・歴史、偉人の業績等を知る機会の創出では、主に平成28年NHK大河ドラマ関連事業として博物館の企画展、公民館では各種講座が開かれた。また、真田氏演劇鑑賞事業を設け、市内小学校6校で開催している。博物館展示施設の更新で、上田城真田氏関連史跡紹介コンテンツ（博物館シアター映像）は制作中で50%の進捗率であり、来年1月4日には完成披露予定である。

4. 生涯学習の推進による地域の教育力の醸成

○ 資料1により瀬間生涯学習課長説明（要旨）

中間報告は目標どおりの進捗である。上田市生涯学習基本構想の策定では平成27年度末までに策定予定である。社会教育施設の計画的な整備については、西部公民館建替に向けた用地取得、基本・実施設計の作成、神川地区公民館の整備に向けた検討を進めている。地域と連携した学校を支援する取組の推進では新たに神川小、五中で取り組みが始まった。コーディネーター養成講座は、3回開催した。人権同和教育・啓発の推進は学校、地域、企業等で講演会や研修会を350回開催し、13,500人が参加した。

5. 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備

○ 資料1により滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

中間報告は目標どおりの進捗である。スポーツ施設整備基本構想の策定は平成27年度末までに策定予定である。市民のスポーツへの関心や参加意欲の促進では、夢の教室を6校11クラスで開催するとともに、全国大会出場者へ奨励金の交付が17件あった。また、新規事業として自然環境を活用したスポーツイベント「太郎山登山競走」の開催があった。総合型地域スポーツクラブの活動支援としてスポーツクラブと連絡会議の開催や連携をし、体力測定等のイベントを行った。

○ 質疑

北沢委員

上田市教育支援プランの推進の特別支援学級へのタブレット型パソコン配備について、成果と課題をきちんと検証していただきたい。目的に学習意欲や学力向上を図るとあるが、本当にそのようなことで導入の効果があるのか、費用対効果の面からみても効果があるのかどうか、きちんと検証していただきたい。興味本位で終わってはいけぬ。事例をきちんと検討して有効な活用方法を見出していただきたい。ある面ではとても効果があることはわかっているが、本当にそのことが意味があるのかどうかということとは指導力との関係もあり難しいこともあるかと思う。その結果を得てぜひ他校へ導入するのかわからないのかということを見極めていただきたい。

小井戸学校教育課長

確かに、導入してみただけでは意味がない。特別支援の関係については、県の養護学校で既にこういったものが入っていると聞いている。同じような機種を入れて次につなげていくという前段階として、市内の学校でも入れておいた方が次につながるということで、そういった事例も参考にして導入し始めた。検討、課題についてこれから考えていきたい。

城下委員

放課後児童対策の充実は、年度当初、取組項目に入っていたか。

小井戸学校教育課長

入っていた。

城下委員

幼保小中の連携で、中学校5校に専科教員を配置するとあるが、数年来、この書き方が変わっていない。5校の中身として学校が変わることはあるが、毎年同じように記載されている。積み上げたうえでの報告にはならないのか。

小井戸学校教育課長

毎年同じような学校ということであるが、例えば、学校を変えていったほうが効果が上がるのかということか。

城下委員

この書き方だとまず、5校がどこの学校なのかわからない。学校名を記載する必要があるのではないか。5校は昨年と同じだと思うが単年度として切ったときに、昨年とはここが違う、今年はこうであるというような中間報告の書き方にはならないか。成果が積み上がっている形で中間報告になるとよいのではないか。

小井戸学校教育課長

5校というのは、予算の枠がなかなか増やせないということがあり、5人になっている。また、派遣できる学校の教員の人数にもよってどこの学校でもということにならない事情がある。一つには、中一ギャップという中学校に上がるときの解消をねらっている。学力ももちろんあるが、そういった部分での効果を期待している事業になる。ただ、学校を変えていくのも一つの課題である。予算をとれば、学校を増やすということも当然あるが、先生の配置も含めて難しいという状況もある。

城下委員

学校数どうこうではなく、何年か継続でやってきているので、その効果はどうだったというところを報告できるとよい。

小井戸学校教育課長

次回、年度末の報告のなかではその辺の実績、効果について記載をまとめてしたい。

寺島委員

城下委員と同じような意見であるが、ここのところは中一ギャップのところである。学習

意欲の向上、あるいは学力向上、それから中学進学不安解消というところが目的である。中学校に、あるいは小学校に数学の教師を派遣するというのは手段である。どちらかというところ、手段が成果に出ている。そうではなく、目的のところ実際に中一ギャップが解消されているのか、あるいは学習意欲が向上しているのかということを検証しなければいけない。中一ギャップのところ不安解消されている、学習意欲が上がっているという成果が実際にあるとすれば予算ではなく効果があるということで、積極的に予算を盛ってもらい、集中投資していけば学力向上につながっていく。予算があるかという考え方ではなく、効果があればどんどん予算をつけてもらうことも大事である。同じように、保育園との交流もそうだが先生方が交流していて実際に子どもたちにどういう効果があったかということを検証しないとただ、手段をやっているだけで終わってしまう。心の教室相談員やスクールカウンセラーを増やしたということは、実際に子どもが学校訪問をさせてもらい話を聞くと、お昼休みでも相談員のところにたくさん子どもたちが来ていて、お昼も食べられないくらいであると、現実子どもが相談員のところに行くことが楽しみにしていると、そういうかたちで増えているということを実態として聞いている。これは目的に沿って効果が上がっていると解釈している。ぜひ、手段ではなく目的としたことに成果が上がっているかを視点にしてほしい。

城下委員

スポーツ施設整備の推進について、わかる範囲で具体的な進捗状況をお聞かせ願いたい。

滝沢スポーツ推進課長

現在、体育協会のなかで意見があればまとめている状況である。これからは、スポーツクラブの連携会議を予定しておりそちらのほうでも資料について説明し、ご意見があればいただきたい。また、11月に入ったところでスポーツ推進審議会を開催する予定である。そこにおいても再度修正した検討案について説明し、ご意見を伺っていきたい。そして年度末に向け完成させていきたいと考えている。

○ 全委員 了承

3 〈報告事項〉

(1) 学校教育関係寄附の状況（学校教育課）

○ 資料2により小井戸学校教育課長説明（要旨）

2名の県外の方からふるさと寄附金をいただいた。平成27年度累計は25件で金額は、772,111円である。

○ 全委員 了承

(2) 第10回人権を考える市民のつどいの結果報告（生涯学習課）

○ 資料3により瀬間生涯学習課長説明（要旨）

第10回人権を考える市民のつどいが10月1日（木）にサントミューゼ大ホールにて開催された。市民団体の活動アピールは「上小ふれジョブ連絡協議会上田支会」が行い、講演会では、講師の家田荘子さんが、「一緒に生きて行きましょう」～私の出逢った人たち～と題して講演を行った。参加人数は約1,200人であった。

○ 全委員 了承

(3) 4大学リレー講座開催について（生涯学習課）

○ 資料4により瀬間生涯学習課長説明（要旨）

4大学リレー講座が11月7日（土）・21日（土）・28日（土）・12月12日（土）の4回にわたって開催される。7日は信州大学繊維学部、21日は長野大学、28日は上田女子短期大学、12月12日は長野県工科短期大学校で、それぞれ講座のあとにキャンパスツアーがあり、学生気分学びながら楽しめる内容になっている。どなたでも受講でき、参加費は無料である。また、全回を受講した方には修了証を発行する。

○ 全委員 了承

(4) 文化振興関係寄附の状況（文化振興課）

○ 資料5により浅野文化振興課長説明（要旨）

2名の県外の方からふるさと寄附金をいただいた。平成27年度累計は52件で金額は、690,233円である。

○ 全委員 了承

(5) 第19回上田城跡能楽開催結果（文化振興課）

○ 資料6により浅野文化振興課長説明（要旨）

9月12日（土）にサントミュージゼ大ホールで能楽講座と能楽公演が開催された。内容は、市内小中学生を対象とした能楽鑑賞の基礎解説や能舞台の体験で、招待された市内小中学生42名のうち舞台体験者は14名、一般聴講者は約200名であった。能楽公演の上演演目は、能「屋島」「紅葉狩」、狂言「清水」で入場者は703名であった。また、関連企画として、上田市立博物館で能面の展示を行った。

○ 全委員 了承

(6) 第19回うえだ城下町映画祭の開催について（文化振興課）

○ 資料7により浅野文化振興課長説明（要旨）

第19回うえだ城下町映画祭が11月7日（土）、8日（日）に上田文化会館で開催される。上田市で初上映という作品も盛り込まれている。7日（土）は、9時30分から開場、8日（日）は、9時開場となっている。また、前売券の販売は11月6日（金）までである。チケット販売窓口は、平安堂、幻灯舎、上田文化会館、創造館などで販売している。インターネットによる予約販売も行っている。

○ 全委員 了承

(7) 第10回子ども文化講座の開催について（文化振興課）

○ 資料8により浅野文化振興課長説明（要旨）

第10回子ども文化講座が11月14日（土）に上田市中央公民館で開催される。日頃の詩吟の活動の発表のほか、参加者全員で詩吟を学ぶものである。開場は13時で入場無料で

ある。

○ 全委員 了承

(8) 第29回上田古戦場ハーフマラソン実施報告 (スポーツ推進課)

○ 資料9により滝沢スポーツ推進課長説明 (要旨)

10月4日(日)に第29回上田古戦場ハーフマラソンが開催された。ゲストランナーに嶋原清子さんをお迎えし、県営上田野球場前をスタートする5コース、11種目が行われた。参加人数は、2,543名であった。

○ 全委員 了承

(9) 松本 隆現代語訳 シューベルト歌曲集『冬の旅』について (丸子地域教育事務所)

○ 資料10により石井丸子教育事務所長説明 (要旨)

上田市合併10周年記念事業としてニューイヤー特別コンサート、松本隆現代語訳シューベルト歌曲集『冬の旅』が2016年1月5日(火)にセレスホールで行われる。チケットは10月24日(土)午前10時より発売開始で全席指定の3,000円である。

○ 全委員 了承

(10) 行事共催等申請状況について (教育総務課・学校教育課・生涯学習課・文化振興課)

○ 全委員 了承

4 〈その他〉

(1) 神林中央公民館長より公民館だより説明

○ 全委員 了承

閉会